

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	遠距離通学費補助事業			基本目標	教育環境の整備充実				
担当課(局)・係	教育総務課	教育総務係	記入者	谷口涼子	評価者	三嶋俊宏	開始年度	S55	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	通学費の一部を補助することにより、遠距離通学児童生徒の保護者の負担軽減を図り、児童生徒の就学を支援する。							
	対象(誰を・何を)	町内小中学校児童生徒(小学生:通学距離4キロメートル以上、中学生:通学距離6キロメートル以上)							
事業の内容	町内小中学校の遠距離通学児童生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助する。								
事業の根拠法令・要綱等		高鍋町遠距離通学生に対する通学費補助に関する条例							

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		137	千円	25年度予算額		137	千円	25年度予算額中一般財源の割合			100	%		
支出の内訳	負担金補助及び交付金	137	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人
			千円		県支出金		千円	職員人件費	H24			71	千円	
			千円		地方債		千円		H25			73	千円	
			千円		一般財源	137	千円	当事業の金銭的成本 (職員人件費+予算(決算)額)	H24			208	千円	
			千円				千円		H25			210	千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	遠距離通学費補助金								
	補助対象				補助金要綱									
	24年度	補助額	139	千円	補助の形態	奨励的補助	H25年度補助額	208	千円	終期	平成25年度			
		交付団体の決算額	139	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
決算額に占める割合		100	%	※特別交付税措置										
	繰越額	0	千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	遠距離児童生徒該当者数	遠距離児童生徒の保護者の経済的負担を軽減する。									
	2											
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	学校への依頼	各小中学校長に保護者への周知と補助金申請を依頼									
	2											
	3											

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	遠距離児童生徒該当者数	目標値	—	—	—	
		実績値	59	52		
		達成率	%			
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
活動指標	学校への依頼	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			

事務事業名	遠距離通学費補助事業	担当課(局)	教育総務課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数 自己 評価	評価の理由
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	遠距離通学児童生徒の身体的負担と保護者の経済的負担を軽減するために必要である。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	1	補助することにより、遠距離通学児童生徒の保護者の経済的負担が軽減できる。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	児童生徒の登下校の時間帯に路線バスが運行していないところもあり、町でスクールバス等を運行することになれば、コスト増は必至であるから補助制度適当と思われる。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	遠距離児童生徒の保護者に対する通学費の補助であるから、町民との協働は馴染まないと考える。
自己評価点		12	

※町補助をしている場合のみ記入

公公平性 (公益性)	◎公益性が高いか		
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
合計(最高4点)		0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	議員から、町内循環バスが利用できないかの要望や、交通機関利用の場合に対して補助している市町村があるなど、この補助のあり方を調査研究していく必要がある。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
				○		
						コスト

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 助成額や要件など現在の通学事情を勘案した見直し検討も必要と考える 根本的な見直しの時期では補助額も小額であり、距離の境目等で不公平感もあるので、廃止が良いかと思われる。その代わりに新たな制度が必要かと考える。(特別交付税もあるので) 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 町内巡回バス、スクールバスなど検討が必要と思われる。また、補助額そのものも妥当かどうか検討すべきである。 補助額が実費とかけ離れていることから、コスト拡充も視野に入れるべきだが、世代間の公平性を失われることを考慮すると、このままの単価で継続することが妥当。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	外国語指導助手学校派遣事業		基本目標	教育内容の充実					
担当課(局)・係	教育総務課	教育総務係	記入者	河野恵子	評価者	三嶋俊宏	開始年度	H10	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	小中学校に外国語指導助手を派遣し、外国語活動、外国語科授業及び国際理解教育の補助							
	対象(誰を・何を)	町内各小中学校児童生徒							
事業の内容	保育園、小学校における外国語活動の補助及び国際的な視野向上促進 中学校における外国語科授業の補助及び英語暗唱弁論大会等への協力								
事業の根拠法令・要綱等		招致外国青年任用規則							

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		3,825	千円	25年度予算額		4,157	千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%			
支出の内訳	報酬	3,714	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.11	人	H25	0.11	人
	需用費	1	千円		県支出金		千円	職員人件費	H24	786			千円	
	役務費	25	千円		地方債		千円		H25	800			千円	
	備品購入費	13	千円		一般財源	4,157	千円	当事業の金銭的成本	H24	4,611			千円	
	負担金補助及び交付金	72	千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	4,957			千円	
補助事業	事業の区分	該当しない				補助事業名								
	補助対象					補助金要綱								
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期				
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
決算額に占める割合			%											
	繰越額		千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	英語暗唱弁論大会入賞	英語科教諭と共に行う指導が生徒の学力向上につながる。									
	2											
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	保育園への派遣回数	小中学校の春・夏・冬季休業期間を中心に派遣し、園の行事等に参加し園児と交流する。									
	2	小学校での活動時間数	学級担任と共に行う外国語活動の授業の補助をする。									
	3	中学校での指導時間数	英語科教諭が行う授業を補助し、授業の充実を図る。									

◎目標達成状況

成果指標	英語暗唱弁論大会入賞	目標値	1	1	1	東児湯地区中学生英語暗唱・弁論大会 暗唱の部において最優秀賞と優秀賞、弁論の部において優秀賞受賞	
		実績値	1	3			
		達成率	100.0%	300.0%			
		目標値					
		実績値					
		達成率					
	活動指標	保育園への派遣回数	目標値	33	30	31	
			実績値	30	31		
			達成率	90.9%	103.3%		
小学校での活動時間数		目標値	216	185	171		
		実績値	185	171			
		達成率	85.6%	92.4%			
中学校での指導時間数		目標値	311	313	284		
		実績値	313	284			
		達成率	100.6%	90.7%			

事務事業名	外国語指導助手学校派遣事業	担当課(局)	教育総務課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		評価の理由
		自己評価		
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	<p>義務教育期間の学校教育充実のため町が行うべき事業と考えられる。また、平成23年度から小学校外国語活動が完全実施となり、外国語指導助手の派遣は必要不可欠である。事業を廃止した場合、小中学校における外国人との英語活動経験の機会を失うことになる。</p>	
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2		
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2		
	◎事業廃止による影響があるのか	2		
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	<p>外国人が外国語活動及び英語科授業の補助をすることで、外国人に対する苦手意識が減少し、外国語への興味・関心が向上している。平成23年度来日の外国語活動助手が3年目を迎えることで、児童生徒も慣れ親しむことができている。また、本人のアイデアによる教材等を手作りすることで外国語活動及び外国語科授業への興味・関心にもつながっている。</p>	
	◎すでに目的は達成されていないか	1		
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	<p>活用内容は派遣した学校によって異なるが、学校行事等及び派遣希望確認を十分に行い、担当教諭、ALT、教育総務課との間で連絡を取り合うことで効率的な派遣ができている。 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により外国人指導助手(ALT)を受け入れているため、十分な研修を受け、また向上心のある人材が多い。</p>	
	◎費用対効果が十分に認められるか	1		
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	<p>児童生徒に対する外国語活動及び授業の指導補助のため、町民との協働の予定はない。</p>	
自己評価点		14		

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
合計(最高4点)		0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>外国人と話す機会がなかなかない中、学校現場において、本物の語学が学べることは、実に貴重と考える。</p>	今後の方向性																											
			事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持			○		縮小					廃止					<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充	コスト
拡充																														
維持			○																											
縮小																														
廃止																														
廃止	縮小	維持	拡充																											
コスト																														

事務事業評価委員会評価欄	<p>担当課の方針どおり現状維持が望ましい。</p>	外部評価委員会評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト